

陸・海・空 自衛官募集



守りたいものがある…
その気持ちがあれば…
あなたも、きっと…

陸・海・空 自衛隊にはさまざまな職種・職域があります



自衛隊の主な任務は「国の防衛」、「災害派遣」、「国際平和協力」です。
これらの任務を遂行するため、自衛隊には陸上・海上・航空それぞれに多種多様な職種・職域があります。
自分の得意分野の知識・技術を活かしながら「理想の自分」になれる環境が整っています。また、自衛隊員は、特別職国家公務員としての身分が保障されており、各種手当が支給される給与、安定した処遇、衣・食・住を含む手厚いサポートを受けることができる福利厚生など、不安なく目標に向かっていくことができる職場です。

種目紹介

- 一般曹候補生** 各部隊の中核となる自衛官を育成
●応募資格：日本国籍を有する18歳以上33歳未満
- 自衛官候補生** 技術と体力を一心に磨く任期制自衛官
●応募資格：日本国籍を有する18歳以上33歳未満
- 航空学生** 大空を舞台に活躍する夢が叶う
●応募資格：海上自衛隊…日本国籍を有する18歳以上23歳未満
航空自衛隊…日本国籍を有する18歳以上21歳未満
- 防衛大学校** 世界に通用する国防のリーダーを育てる
- 防衛医科学校 (医学科学生)** 医学の知識を、国を守る力に
- 防衛医科学校 (看護学科学生)** 誇りを持てる保健師・看護師に
●応募資格：高卒(見込含)および高専3年次修了(見込含)21歳未満

7月1日から
願書受付開始
まずは
資料請求を

※興味がある人に自衛隊見学ツアーなどの案内も行っています！
ぜひ話だけでも聞きに来てください。
お待ちしております！



自衛隊HP

自衛隊 島原地域事務所 ☎0957-62-3759 島原市今川町1855-5
または 市役所 防災課(西有家庁舎) ☎73-6622

食品ロスをなくしましょう

環境課(衛生センター庁舎) ☎73-6644

南島原市は、令和4年3月に「南島原市食品ロス削減推進計画」を策定しました。

●食品ロスとは

『食品ロス』とは、本来食べられるにも関わらず、廃棄される食品のことです。
日本では、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの小売店舗や外食店舗が普及し、食品を簡単に手に入れられる環境にある一方で、生産、製造、流通、販売、消費などの各段階において、売れ残りや食べ残りなどの理由で食品が日常的に廃棄され、大量の食品ロスが発生しています。農林水産省、環境省および消費者庁が公表した数値では、令和2年度の日本における「食品ロス」は522万トンと推計されています。

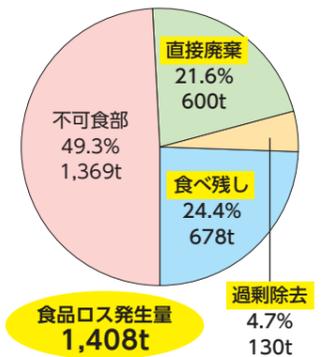


推計を開始した平成24年度以降で最少ですが、この量は、世界の食糧援助量(約420万トン)を大きく上回ります。また、食品ロスを焼却処理することで二酸化炭素が排出され、気候変動や生物多様性の損失を引き起こす一因にもなり、食品ロスの発生は、単に「もったいない」という問題だけではなく、環境問題などのさまざまな社会問題にも関連しています。

●食品廃棄物発生量について

本市の令和2年度における可燃ごみは、15,013トンでした。
このうち食品廃棄物の発生量は2,777トンにのぼり、全体の約5分の1を占めています。

食品ロス発生量



●食品ロスの発生量

- 食品廃棄物の発生量2,777トンのうち、食品ロスの内訳は、以下のとおり推計されます。
- 直接廃棄(買はずりなどにより未開封のまま捨ててしまうもの)……………21.6%
 - 食べ残り(作りすぎや注文しすぎなどにより食べきれずに捨ててしまうもの)……………24.4%
 - 過剰除去(調理する際に本来食べられる部分まで過剰に取り除いてしまったもの)… 4.7%
 - 不可食部(魚の骨や貝殻など食べられないもの。※食品ロス対象外)…………… 49.3%

1日の食品ロス発生量は、1人あたり88グラムとなり、インスタント麺の1袋を毎日捨てていることになり、燃えるごみの焼却には、1トンあたり約27,000円かかります。このグラフの食品ロス発生量1,408トン进行处理するのに、約4,000万円かかる計算になります。

直接廃棄に関しては、買はずりしないように注意する。過剰除去については、食べられる部分は可能な限り利用すること。食べ残りについては、作りすぎない・注文しすぎないことを意識するように心がけてください。

●生ごみを捨てる際をお願いしたいこと

作りすぎない・注文しすぎないことを意識しても、どうしても生ごみは出てしまいます。
生ごみの約8割は水分であると言われています。水に濡らさないことでごみの減量になるだけでなく、腐りにくくなり、悪臭を予防できます。また、濡れてしまった生ごみは、ギュッとひと絞りして水を切って捨てましょう。水分を含んだごみを燃やすのは通常より多くの燃料を使います。

生ごみ処理機を使うことにより、生ごみを堆肥化して活用することもできます。

市では、家庭用の生ごみ処理機を購入される人に補助金を交付しています。申請やそのほかの補助要件は、環境課にお問い合わせください。

燃やすごみの量が減れば、焼却施設で使用する燃料が抑えられ、二酸化炭素の排出量も抑えられます。

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

●電気式生ごみ処理機

- 購入額の2分の1(100円未満切捨て)
- 限度額…20,000円
- 1世帯につき1台まで

●生ごみ処理容器(コンポスト・EMバケツ)

- 購入額の2分の1(100円未満切捨て)
- 限度額…3,000円
- 1世帯につき2個まで

